

対日理解促進交流プログラム JENESYS2019 ASEAN 派遣第2陣 (対象国：ベトナム， テーマ：日本文化交流)

1. プログラム概要

JENESYS2019の一環として、2019年11月12日～11月20日までの8泊9日の日程で、日本の大学生15名がベトナムを訪問致しました。本訪越団は、ベトナム訪問中、政府関係者との面談、日本のODAサイト及び日系企業等の現場の視察を行い、日本とベトナムとの関係及び日本の国際貢献に関する知見を深めました。また、学校交流、ホームステイ、伝統産業、文化財保護、歴史文化視察などを通じて、ベトナムの文化・社会に対する理解を深めました。このプログラムを通じて、ベトナムにおける対日理解の促進、日ベトナム間の相互理解と信頼関係増進の基盤強化を目的として、各々の関心事項や体験について、SNSを通じて对外発信を行い、帰国前の報告会では、今回の訪越経験を活かした帰国後のアクション・プラン（活動計画）についてグループ毎に発表しました。

【参加者所属先・人数】

北海道教育大学函館校 10名、横浜国立大学 5名

2. 日程

- 11月12日（火） ベトナム着
- 11月13日（水） オリエンテーション
 - 【表敬】 在ベトナム日本国大使館
 - 【表敬】 ベトナム国際青年開発協力協会 (CYDECO)
 - 【文化視察】 一柱寺・ホーチミン廟廟・文廟・民族学博物館・水上人形劇等の文化財視察
- 11月14日（木） 【視察】 日系企業 (MIDORI APPAREL VIETNAM) 訪問
 - 【講義】 JICA (日本のベトナムへの貢献)
 - 【ODA 視察】 日越大学 修士課程設立プロジェクト
 - 【学校交流】 FPT 大学在校生との夕食交流会
- 11月15日（金） 【学校交流】 FPT 大学在校生との交流
 - 【学校交流】 ハノイ貿易大学日本語学習者との交流
 - 【ホームステイ】 ハノイ郊外の農家宅にてホームステイ
- 11月16日（土） 【ホームステイ】 ハノイ郊外の農家宅にてホームステイ
- 11月17日（日） 【視察】 ハロン湾、バッチャン村
- 11月18日（月） 【文化視察】 ドンラム村
 - 【講義】 JVNET 株式会社 (特定技能実習生制度)
 - 【ワークショップ】 日本語学習者との対話、成果報告会準備
- 11月19日（火） 成果報告会
- 11月20日（水） ベトナム発

3. プログラム記録写真



11月13日【オリエンテーション】



11月13日【表敬】
在ベトナム日本国大使館



11月13日【表敬】
ベトナム国際青年開発協力協会 (CYDECO)



11月13日【文化視察】
文廟等



11月14日【日系企業視察】
MIDORI APPAREL VIETNAM



11月14日【講義】
JICA



11月14日【ODAサイト視察】
日越大学修士課程設立プロジェクト



11月15日【夕食交流会】
FPT 大学



11月15日【学校交流】
ハノイ貿易大学



11月16日【ホームステイ】



11月17日【文化視察】
ハロン湾



11月17日【文化視察】
バッチャン村

	
<p>11月18日【文化視察】 ドンラム村</p>	<p>11月18日【日本語学習機関視察】 JVNET 株式会社</p>
	
<p>11月19日【ワークショップ】 成果報告会準備</p>	<p>11月19日【成果報告会】</p>

4. 参加者の感想（抜粋）

◆ 大学生（北海道教育大学函館校）

今回初めての海外渡航でしたが、ベトナムについて様々なことを知ったり、体験したりすることができ、とても充実した期間を過ごすことができた。また、毎日 Facebook の投稿をすることで、自分の考えがまとまり、日々、考えなければならないことが沢山あることに気づいた。今は渡航で感じたこと、体験したことの事実しか述べていないため、これからは自分たちができることについて深く考えていきたい。日本にいるだけではできない経験をしたことでより自分の視野が広がり、様々なことを関連付けて考えられるようになった。

◆ 大学生（北海道教育大学函館校）

今回のベトナム派遣は、自身初めての海外渡航であったことも相まって、大変刺激的なものとなりました。実際に現地に足を運んでみて、日本とは違う文化や風習を生で体験できましたし、日本国大使館や JICA、日系企業でお話を聞く中で、ベトナムの現状や日本とベトナムの関わりについて理解がとても深まったと感じています。また、大学訪問やホームステイ等で英語を使って現地の人々と交流した際、全く異なった言語・文化圏の人間が英語という共通ツールを用いて意思疎通ができたということに、とても感動しました。今後は、これらの経験を日本人や留学生に伝えるとともに、ベトナム人にも日本の魅力を継続的に発信することで、日越関の友好関係に寄与していけたらなと思っています。

◆ 大学生(横浜国立大学)

今回の派遣は、東南アジアを訪れる初めての機会でした。新興国を訪れるのは初めてだったので、今まさに発展している最中の国にはどんな人がいるのかと期待を持って参加しました。視察や交流をしていく中で、日本にはない勢いやエネルギーを感じることも多くありました。現地の大学生は、世界に飛び込んで活躍しようという志があり、街の中では建築中のビルや建物がいくつもありませんでした。一方で、環境汚染や衛生環境の悪さなど成長の陰にある問題もあることがわかりました。これらを通じて、日本人は現状に満足せず、世界にはベトナムのように今勢いよく成長している国があることを認識し、日本をより良くするために考えるべきだと強く思いました。それと同時に、かつて日本も経験した成長に伴う問題をどう解決するべきか、国民がどう意識を変えるべきかを伝える必要があると思いました。

5. 受入れ側の感想

◆表敬先の職員（ベトナム国際青年開発協力協会（CYDECO））

このような若い世代にもっとたくさんベトナムに来てもらいたい。今後いろいろな形でベトナムと関わりを持ってくれることを期待している。

◆交流した大学の職員（日越大学）

交流会の最初は緊張感もありぎこちない空気があり、少し不安な面もあったが、徐々に打ち解けて和やかに会話が進み、安心した。この経験を基に、ベトナムで学ぶという機会を選択肢の一つとして捉えて頂けるよう、日本で情報発信をして頂きたい。

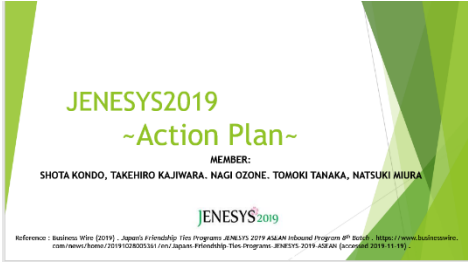
◆日本語学習機関の職員（JVNET 株式会社）

まもなく日本へ向かうベトナムの人たちにとって、とてもいい機会だったと感じる。訪問団はまだ大学生で外国人技能実習制度の多くを理解しきれない部分も多いとは思いますが、将来この訪問の意味を理解してもらえると嬉しい。


6. 参加者の対外発信

<p>2019年11月15日 - 🌐</p> <p>https://www.facebook.com/groups/388736665161378/permalink/454654008569643/</p>   <p>2019年11月15日 - ベトナムハノイ</p> <p>今日は現地の沢山の大学生と交流しました👍👍👍 私たちを歓迎してくれて、積極的に関わろうとしている姿勢に感激でした！</p> <p>何より、学生のコミュニケーション能力に刺激を受けました。幼少から英語を教わってきた私ですが、上手く言葉に表せない場面が多々ありました。たった数年の教育で英語と日本語を喋っている彼らを見て、改めて自分の言語力の低さと、日本の外国語教育について考えさせられました...</p>	<p>2019年11月17日 - 🌐</p> <p>こんにちは！ Hello! Xin chào!</p> <p>今日は、昨日から滞在しているホームステイ先で畑のお手伝いをしました！</p> <p>自宅で栽培し、収穫した食材で料理したものを食べる自給自足の生活を初めて体験し、生きていることを実感できました。</p> <p>また、人と人との繋がりを強く感じる1日でした。ホストファミリーやお店の人たちはジェスチャーや英語から僕の求めていることを一生懸命汲み取ってくれて、片言のベトナム語でお礼を言うとても喜んでくれます。それを見て、僕もとても嬉しくなりました！</p> <p>Today, I worked at the farm of hostfamily! It was the first time to eat what they grow and harvest by themselves, that made me feel alive. And, I strongly felt the relationship among people. Hostfamily and shop assistants tried hard to understand what I meant from my gestures or English, and be glad when I say "Thank you!" in Vietnamese. I was also to see their smile!</p>    
<p>今日は現地の沢山の大学生と交流しました。私たちを歓迎してくれて、積極的に関わろうとしている姿勢に感激でした。</p> <p>何より、学生のコミュニケーション能力に刺激を受けました。幼少から英語を教わってきた私ですが、上手く言葉に表せない場面が多々ありました。たった数年の教育で英語と日本語を喋っている彼らを見て、改めて自分の言語力の低さと、日本の外国語教育について考えさせられました。</p> <p>(参加者 FACEBOOK より)</p>	<p>今日は、昨日から滞在しているホームステイ先で畑のお手伝いをしました。自宅で栽培し、収穫した食材で料理したものを食べる自給自足の生活を初めて体験し、生きていることを実感できました。</p> <p>また、人と人との繋がりを強く感じる1日でした。ホストファミリーやお店の人たちはジェスチャーや英語から僕の求めていることを一生懸命汲み取ってくれて、片言のベトナム語でお礼を言うとても喜んでくれます。それを見て、僕もとても嬉しくなりました。</p> <p>(参加者 FACEBOOK より)</p>

7. 報告会での帰国後のアクション・プラン発表

<p>【横浜国立大学】</p>  <p>JENESYS2019 ~Action Plan~ MEMBER: SHOTA KONDO, TAKEHIRO KAJIWARA, NAGI OZONE, TOMOKI TANAKA, NATSUKI MIURA JENESYS2019 Reference: Business Wto (2019). Japans FriendShip Plan Programs. JENESYS 2019 ASIAN Inbound Program 6P. Bunko. https://www.bunko.or.jp/en/press/2019/03/20190320/341/ (retrieved 2019.11.19)</p>	<p>【北海道教育大学函館校】</p> <p>JENESYS 2019</p> <p>Advancement of Japanese companies</p> <p>Hokkaido university of education Koko Orai Haruna Katsuyama Manami Kitahara Hikaru Narita Sora Honda</p>
<p>アクション・プランの発表 1</p> <p>① 12月10日に大学で今回経験した事のプレゼンテーションの実施</p> <p>② SNSを活用した今回の経験の発信</p>	<p>アクション・プランの発表 2</p> <p>①函館市に住む人々に向けたプレゼンテーションの実施</p> <p>② SNSを活用した在越日系企業の取り組みの発信[C1]</p>
<p>プログラム実施言語：英語</p>	<p>プログラム実施言語：英語</p>

8. 帰国後のアクション・プラン実施報告

<p>【横浜国立大学】</p>  <p>JENESYS2019 報告会 近藤・梶原・大曾根・田中・三浦</p>
<p>期日・開催場所：12月10日（火） 於：横浜国立大学</p> <p>実施内容：大学内の留学支援団体 EnII でのベトナム派遣 2 陣の報告会の実施</p> <p>目的：JENESYS 事業の説明と在ベトナムでの日本の活動支援の理解促進、 情宣活動の為に SNS の告知</p>

事業実施団体：株式会社JTB